

大中校区小中一貫教育たより①

大田原中学校区では、「大田原市小中一貫教育基本方針」に則り、三校（西原小・紫塚小・大田原中）の連携を強化し、「小中一貫教育」を進めています。今年度も様々な取組や活動を行っておりますが、「小中一貫教育って何？」「どんなことをやっているのか？」というご質問を時々いただきます。

今年度も折り返し地点を迎える時期となりますが、この機会に改めて「小中一貫教育」についてお伝えし、保護者の皆様にも理解を深めていただきたいと思います。テトルや各校のホームページを活用し情報を発信していきますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

第1号として**大田原市の小中一貫教育について**お伝えします。

1 大田原市小中一貫教育基本方針

（1）目的

9年間を見通した教育システムを構築することにより、教職員間の相互理解を深め、個への小中一貫した連続性のある支援に取り組み、人間性や学力の向上、対人関係の向上、さらに、これからの社会に主体的に貢献できる実践力や社会的応力（生きる力）を育成します。

（2）目標

9年間を見通して目指す子供像を共有し、子供たちの豊かな人間性・確かな学力・コミュニケーション力、社会適応力の育成と向上を図ります。

（3）主な取組

①9年間の教育目標を明確化し、系統性を図ったカリキュラムを作成し、実践する。

②小中学校の教職員が連携して、授業力の向上を図る。

③小中学校で連携して、児童生徒の交流活動等を行う。

④情報共有を行い、一人一人に適した教育環境を整える。

2 小中一貫教育の区分（3期制）について

児童生徒の発達の特性と教科内容の特性を踏まえ、義務教育9年間を3期に分け、前期・中期・後期とし、それぞれの特色に応じた系統的な教育活動を推進します。

学校	小学校		中学校
学年	1～4年生 (小1～小4)	5～7年生 (小5～中1)	8～9年生 (中2～中3)
区分	前期（基礎期）	中期（活用・定着期）	後期（発展・充実期）

3 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と一体化した小中一貫教育の推進

小中学校9年間でどのような子供たちを育てていくのかという「目指すべき子供像」を保護者や地域住民と共有し、小中一貫教育のカリキュラムに地域の特色を生かしていくなどして、子供たちの豊かな学びと育ちを地域ぐるみで支える体制を構築していく。

※次号、大中校区（西原小・紫塚小・大田原中）の小中一貫教育についてお伝えします！